

令和7年度指定管理鳥獣捕獲等事業の捕獲結果 (ニホンジカ：県中部区域)

千葉県ではニホンジカ（以下、シカ）の分布が拡大傾向にあり、それに伴い捕獲数も年々増加しているものの、依然として農作物被害は深刻な状況にある。このため、第二種特定鳥獣管理計画を策定し、平成27年度から指定管理鳥獣捕獲等事業（以下、指定管理事業）を実施している。

令和7年度においてもシカの指定管理事業実施計画を策定し、生息域の拡大防止を目的に、生息域の外縁部である市原・大多喜区域（以下、「県中部区域」という。）において捕獲を実施した。

1. 捕獲の実施状況

令和7年度は、令和6年度と同様に、市原市及び大多喜町の下記のユニットを実施区域とし、捕獲を実施した（図1）。

- ・ 委託先：（一社）千葉県猟友会
- ・ 委託期間：令和7年6月16日～令和8年1月16日
- ・ 実施区域：市原市（I2、I3、I4、I5、I6）、大多喜町（O9、O10）
- ・ わな設置期間：令和7年8月1日～11月16日（市原市）
令和7年7月29日～11月10日（大多喜町）
- ・ 目標捕獲数及び捕獲方法：110頭（くくりわな）

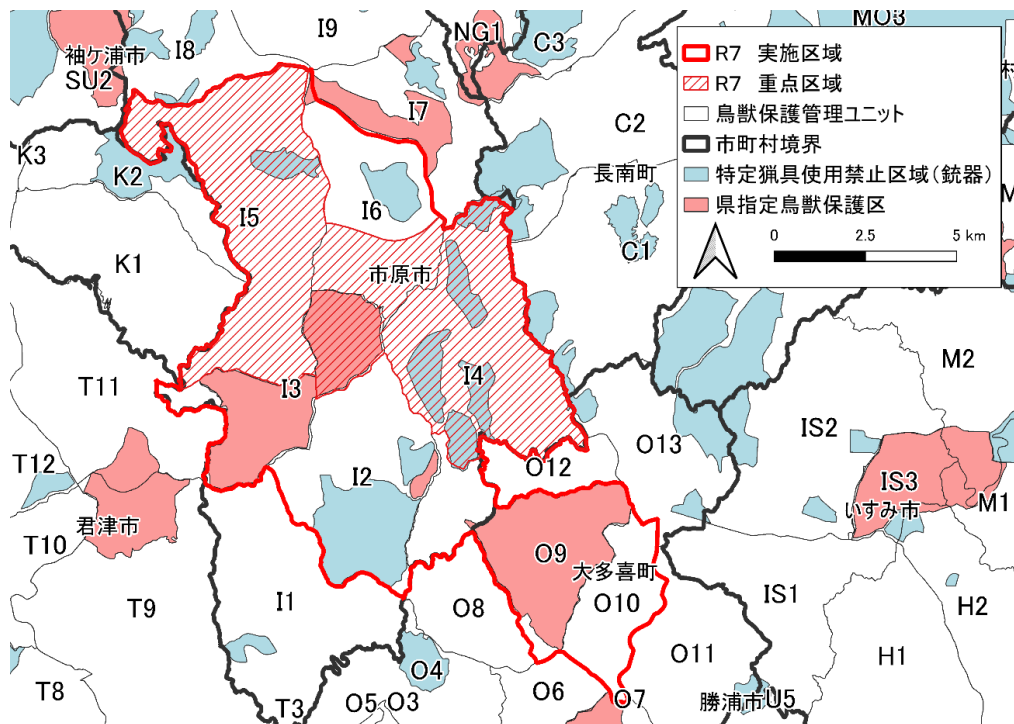
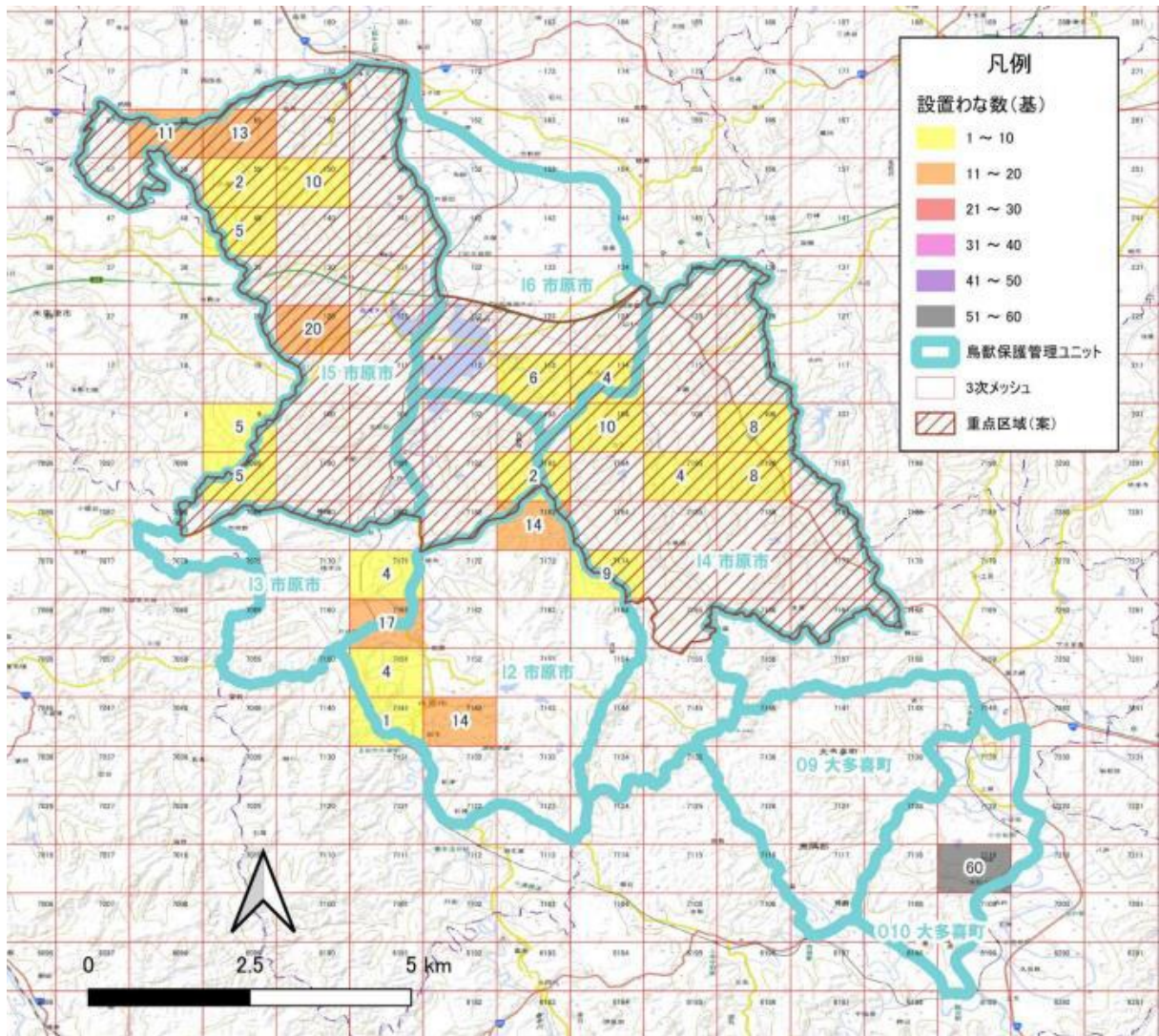


図1 シカの指定管理事業実施区域（県中部区域）



出典：令和7年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲業務委託（ニホンジカ・県中部区域）報告書

図2 メッシュ毎のわな設置数

2. 捕獲の実施結果

＜令和7年度捕獲実績及び捕獲状況の推移＞

表1に捕獲数の内訳を、表2に捕獲作業及び捕獲状況を、表3に令和7年度の月ごとの捕獲作業及び捕獲状況を示す。

- 令和7年度は目標110頭に対して185頭を捕獲し、平成27年度以降最多の実績となった。
- 令和7年度の成獣メスの割合は41.6%に達し、これまでの最大値であった令和4年度(38.7%)を上回った。
- CPUEは、令和3年度以降概ね上昇傾向で、令和7年度はこれまでの最大値であった令和5年度(7.51)を上回り、8.80となった。
- 月別の捕獲状況に着目すると、10月の捕獲数及びCPUEが突出して高い値を示しており、令和7年度全体の実績を押し上げる要因となった。

＜令和7年度のユニットごとの捕獲結果＞

表4及び図3から図6に令和7年度のユニットごとの捕獲結果を示す。

- 捕獲数が多かったのはいずれも市原市内のユニットで、最大はI5において67頭、次いでI2において61頭であった。
- 成獣メスの捕獲割合が高かったのも市原市内のユニットとなっており、I4で50.0%、I5で43.3%であった。なお、I6(66.7%)は、捕獲数が3頭のみと少ないため、参考値とした。
- ユニット別CPUEは、I3が59.2と突出したが、他ユニットのわな日が400弱～数千に対して、I3は152と大幅に少なかったことが影響したと考えられる。次いで、CPUEが高かったユニットは、I3に隣接するI2で13.3であった。
- 大多喜町内のユニットO10は、成獣メスの割合が51.6%と実施区域中で最も高かったが(参考地としたI6を除く)、CPUEは5.0と最も低い値であった。

表 1 指定管理事業における捕獲数の年度別内訳（県中区域）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
成獣 メス	1 (25.0)	16 (34.0)	9 (52.9)	17 (27.9)	15 (19.0)	50 (35.7)	37 (34.6)	46 (38.7)	27 (17.4)	37 (25.5)	77 (41.6)
オス	3 (75.0)	22 (46.8)	8 (47.1)	36 (59.0)	47 (59.5)	70 (50.0)	55 (51.4)	48 (40.3)	42 (27.1)	68 (46.9)	88 (47.6)
幼獣 メス	0 (0.0)	9 (19.1)	0 (0.0)	6 (9.8)	14 (17.7)	17 (12.1)	8 (7.5)	18 (15.1)	66 (42.6)	34 (23.4)	17 (9.2)
オス	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.3)	3 (3.8)	3 (2.1)	7 (6.5)	7 (5.9)	20 (12.9)	6 (4.1)	3 (1.6)
合計	4	47	17	61	79	140	107	119	155	145	185

※後足長が 30cm 以上の個体を成獣とした
 ※括弧内は各年度の全捕獲数に占める割合

表 2 年度別のわな捕獲の作業及び捕獲状況（県中部区域）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
わな数	65	120	120	160	160	200	210	297	200	237	200
わな日	1,936	10,878	10,278	16,646	16,078	25,046	21,582	22,356	20,643	22,551	21,014
空はじき	0	102	38	180	148	134	459	542	440	401	189
空はじき率	0.00	9.38	3.70	10.81	9.21	5.35	21.27	24.24	21.31	17.78	0.90
目標捕獲頭数	-	20	24	55	60	120	100	100	100	100	110
捕獲数	4	47	17	61	79	140	107	119	155	145	185
成獣メス割合(%)	25.0	34.0	52.9	27.9	19.0	35.7	34.6	38.7	17.4	25.5	41.6
幼獣割合(%)	0.0	19.1	0.0	13.1	21.5	14.3	14.0	21.0	55.5	27.6	10.8
CPUE	2.07	4.32	1.65	3.66	4.91	5.59	4.96	5.32	7.51	6.43	8.80

※わな日はわな数×わな稼働日数により算出
 ※CPUEは(捕獲数/わな日)×1000、空はじき率は(空はじき/わな日)×1000
 ※平成 27 年度は目標捕獲数の設定なし
 ※平成 27-28 年度は主に冬期、平成 29 年度以降は夏期から秋期にかけて捕獲を実施

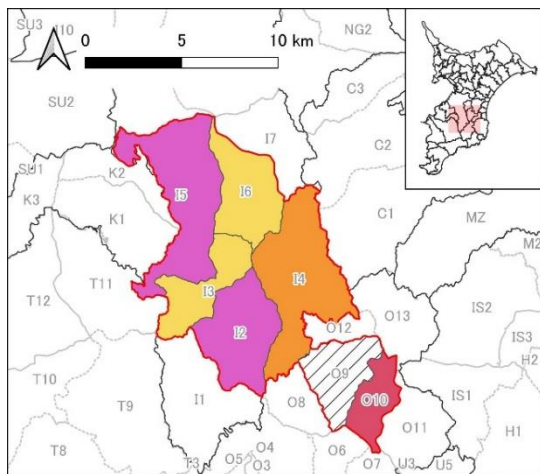
表 3 令和 7 年度の月ごとのわな捕獲の作業及び捕獲状況

	7月	8月	9月	10月	11月	合計
わな日	2,957	6,227	6,000	4,630	1,200	21,014
捕獲数	1	38	39	97	10	185
成獣メス割合(%)	100.0	50.0	43.6	37.1	40.0	41.6
幼獣割合(%)	0.0	15.8	10.3	9.3	10.0	10.8
CPUE	0.34	6.10	6.50	20.95	8.33	8.80

表 4 令和7年度のユニットごとの捕獲結果

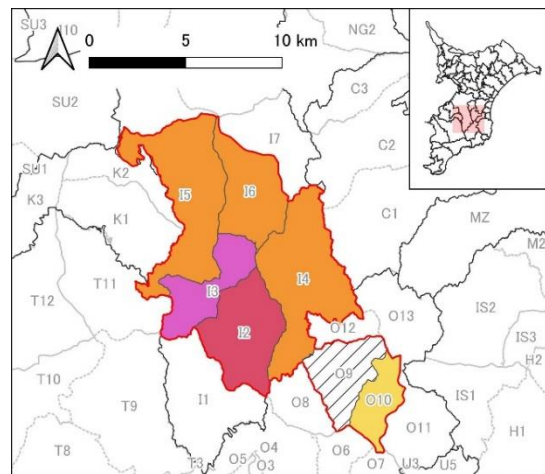
市町	ユニット	わな日	捕獲数	CPUE	空はじき率 (%)	成獣メス割合 (%)	幼獣割合 (%)	オス割合 (%)	幼獣/成獣メス比
市原市	I2	4580	61	13.3	7.6	32.8	18.0	49.2	0.6
	I3	152	9	59.2	39.5	33.3	0.0	66.7	0.0
	I4	2426	14	5.8	10.3	50.0	28.6	35.7	0.3
	I5	7238	67	9.3	13.7	43.3	7.5	50.7	0.1
	I6	378	3	7.9	18.5	66.7	0.0	33.3	0.0
大多喜町	O10	6240	31	5.0	2.7	51.6	0.0	48.4	0.0

※わな日はわな数×わな稼働日数により算出した。
 ※CPUEは(捕獲数/わな日)×1000、空はじき率は(空はじき/わな日)×1000とした。
 ※オス割合は成獣オス・幼獣オスの合算値である。
 ※幼獣/成獣メス比は幼獣個体数を成獣メス個体数で割った値である。



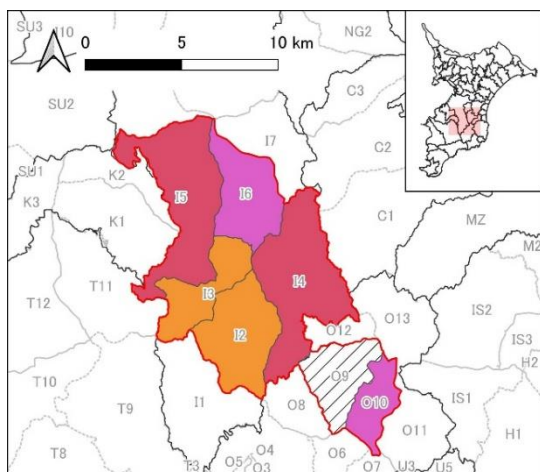
R7捕獲頭数(頭) くくりわな・箱わなの設置なし
 0 < X ≤ 10 R7実施地域
 10 < X ≤ 30 鳥獣保護管理ユニット
 30 < X ≤ 50 行政区域
 50 < X ≤ 67

図 3 ユニットごとの捕獲数



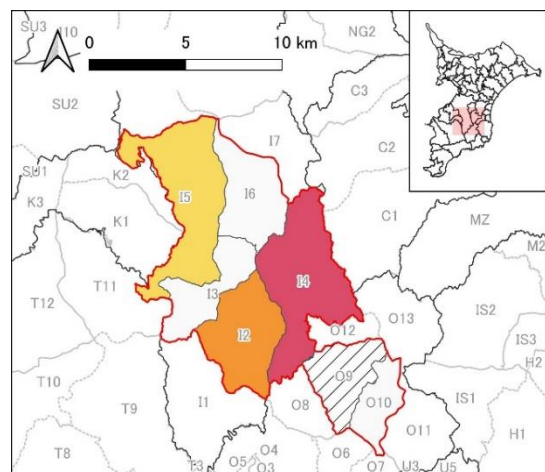
R7CPUE(1000基日) くくりわな・箱わなの設置なし
 0 < X ≤ 5 R7実施地域
 5 < X ≤ 10 鳥獣保護管理ユニット
 10 < X ≤ 20 行政区域
 20 < X ≤ 59

図 4 ユニットごとのCPUE(くくりわな)



R7成獣メス割合(%) くくりわな・箱わなの設置なし
 0 < X ≤ 30 R7実施地域
 30 < X ≤ 40 鳥獣保護管理ユニット
 40 < X ≤ 50 行政区域
 50 < X ≤ 67

図 5 ユニットごとの成獣メス割合



R7幼獣割合(%) くくりわな・箱わなの設置なし
 0 R7実施地域
 0 < X ≤ 10 鳥獣保護管理ユニット
 10 < X ≤ 20 行政区域
 20 < X ≤ 29

図 6 ユニットごとの幼獣割合